

ワクワクする快適を

■ 三菱自動車が目指すワクワクする快適

三菱自動車の快適性技術は、クルマの機能性を高めるだけでなく、クルマと利用環境と一緒に乗っている人との物理的な相互作用の中で湧き上がってくるワクワクする気持ちを追求しています。先進のものづくり技術やIT技術などを活用しながら「ワクワクする快適」を具現化していきます。



運転の楽しさを高めるコックピット

ドライバーのために

四輪制御技術が追求する意のままの走りの要の一つが運転操作です。そして運転操作の感覚をお客様にとってより自然で魅力的にするための問いを立て、新しい価値をコックピットに吹き込んでいくことで“運転の楽しさ”をより高めています。

運転の楽しさを高めるコックピットの要素

ドライビング
ポジション

使いやすい
運転補器

効果的な
視界補助

分かりやすい
情報提示

大切な人と過ごしたくなる移動空間・機能

乗る人全員のために

自然と並走しながら過ごす時間がより快適で楽しくあるための身体的感覚や機能性を追求し、何度でも感動できる、繰り返し利用したくなる、そんなワクワクする気持ちを提供していきます。

大切な人と過ごしたくなる移動空間の要素

リスニング
ルーム

車室内
環境性能

居住性

利便性

■ 一歩前に踏み出す気持ちをサポートするサウンド

“ Drive your Ambition ” それは、これから三菱自動車が進む道を示すメッセージです。私たちが提供する新しい価値は、お客様が今までできなかった体験を可能にします。「行動範囲を広げたい、さまざまなことに挑戦したい」そのような志を持ったお客様を、私たちはサウンドでもサポートし続けます。

■ アウトランダーPHEVに搭載した最高峰の“リスニングルーム”

ヤマハの楽器づくりのフィロソフィーと三菱自動車のクルマづくりへのパッションが結実し、「ドライビング空間での最高の音楽体験」を実現しました。アーティストがまるで目の前にいるような繊細かつ迫力のある音質が、ドライビングをかつてない体験へとアップグレード。

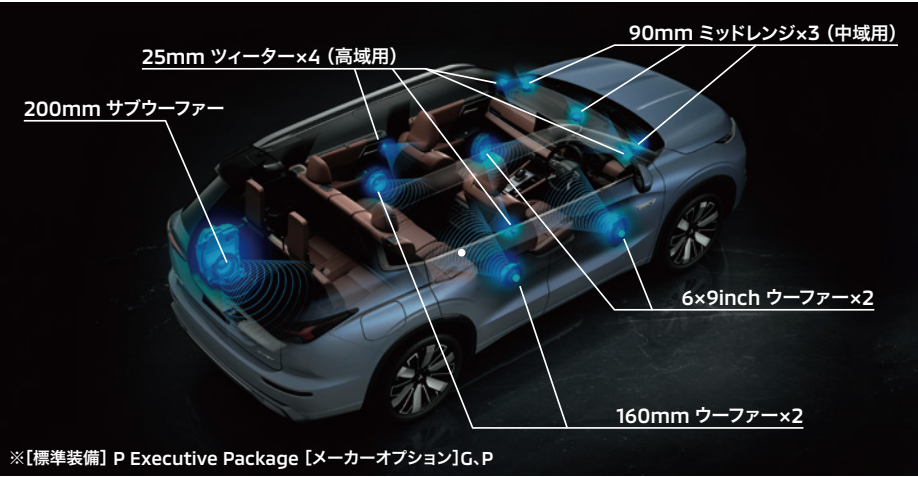


ヤマハが長年培ってきた音響技術をもとに、専用のDSP(デジタル・シグナル・プロセッサー)を開発。ホールや劇場の音響設計で培ったノウハウを車内音響に応用し、クルマ特有の音響課題を三菱自動車技術者と共に解決。

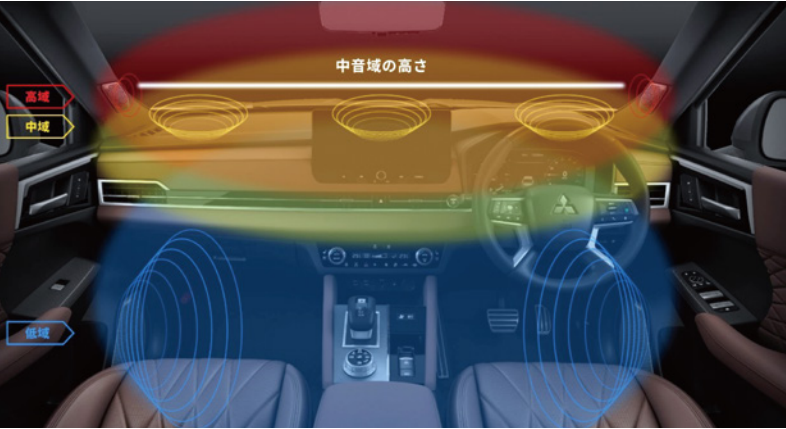


■ Dynamic Sound Yamaha Ultimate(12スピーカー)

ヤマハのフラッグシップモデル「NS-5000」の設計思想を継承した計12個の専用スピーカーを採用。



●臨場感を生み出すために計算しつくされた音響設計



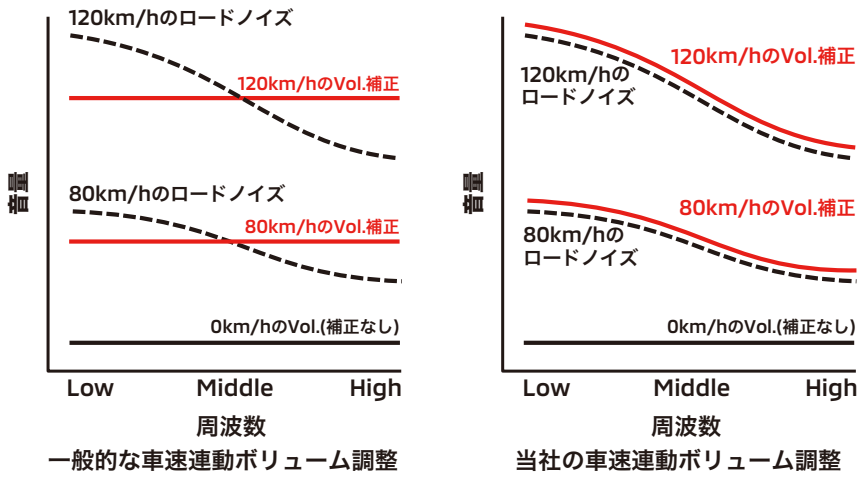
●4つのサウンドタイプと2つのサラウンド設定



■ オフロードでも雨天時でも高音質が楽しめる

走行時でも高音質 SCV (Speed Compensated Volume)

車速に連動して補正を実施。高速走行時は低音の補正を強くすることで、聴えにくさを解消します。補正量を5段階から選択可能なため、ロードノイズの大きなオフロード走行時でも音楽が楽しめます。

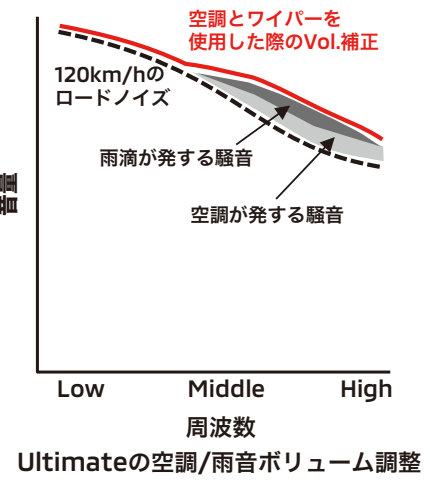


雨天時も高音質 RCV (Rain Compensated Volume)

雨の強さに応じて2段階の補正レベルを設定。ワイパーの作動に連動し、大雨の中でもしっかり聴こえます。

エアコンの音にも対応 ACV (Air-conditioner Compensated Volume)

エアコン風量レベルや吹き出し口の選択に応じて、自動でサウンドを補正。エアコン風量が強くてもしっかり聴こえます。



■ 高音質に徹底的にこだわったドアパネル

スピーカーの大出力を受け止めるドアインナーパネルは、部品取り付け作業用の穴を樹脂製カバー(サービスホールカバー)で塞ぐことで、スピーカー後ろから回り込む不要音を遮断。パネルの補強材を大型化し、溶接スポットを増やすことやおもりを追加することで、アウトランダー(Ultimate)の場合、旧型の約1.5倍のパネル剛性を達成。力強くキレのある低音を実現しました。



■ ジェネレータカバーの追加

繊細な楽器のニュアンスや余韻まで忠実に再現されたサウンドで満たされたオーディオルーム。ジェネレータカバーを追加することでエンジンから発生する高周波音をカット。走行中の発電騒音を大きく低減しました。

